

日本調理科学会の年度大会で周知活動を行いました。(2019年度)

塩と暮らしを結ぶ運動では、2019年8月26日（月）・27日（火）に、福岡県福岡市の中村学園大学で開催された一般社団法人日本調理科学会の2019年度大会において、[昨年度](#)に引き続き、周知活動を行いました。

日本調理科学会の年度大会では、口頭及びポスターによる研究発表や公開シンポジウム、また、書籍の展示販売、企業による食品や機器類の展示などが行われます。

例年、この大会に出展している（公財）塩事業センターが、今回も、ブースにおいて、塩と暮らしを結ぶ運動の周知を実施しました。

ブースには、運動のポスターや、熱中症対策のポスターを掲示しました。そして、来場者の方々に、運動の冊子『塩と暮らしのあれこれBOOK』、クリアファイルやウチワをお渡ししました。

大会には、栄養や食品関係の分野の学生や研究者の方々を中心に、2日間で合計約900名の来場がありました。その中で、約200名の方に、塩と暮らしを結ぶ運動の冊子などをお配りしました。

栄養や食品について学んでおられる来場者の皆様の多くは、普段から塩と調理について高い意識をお持ちだと思います。そのような方々に、熱中症対策をはじめとする、調理に限らない塩と暮らしの関わりについて、改めてお伝えすることができたのではと思います。

